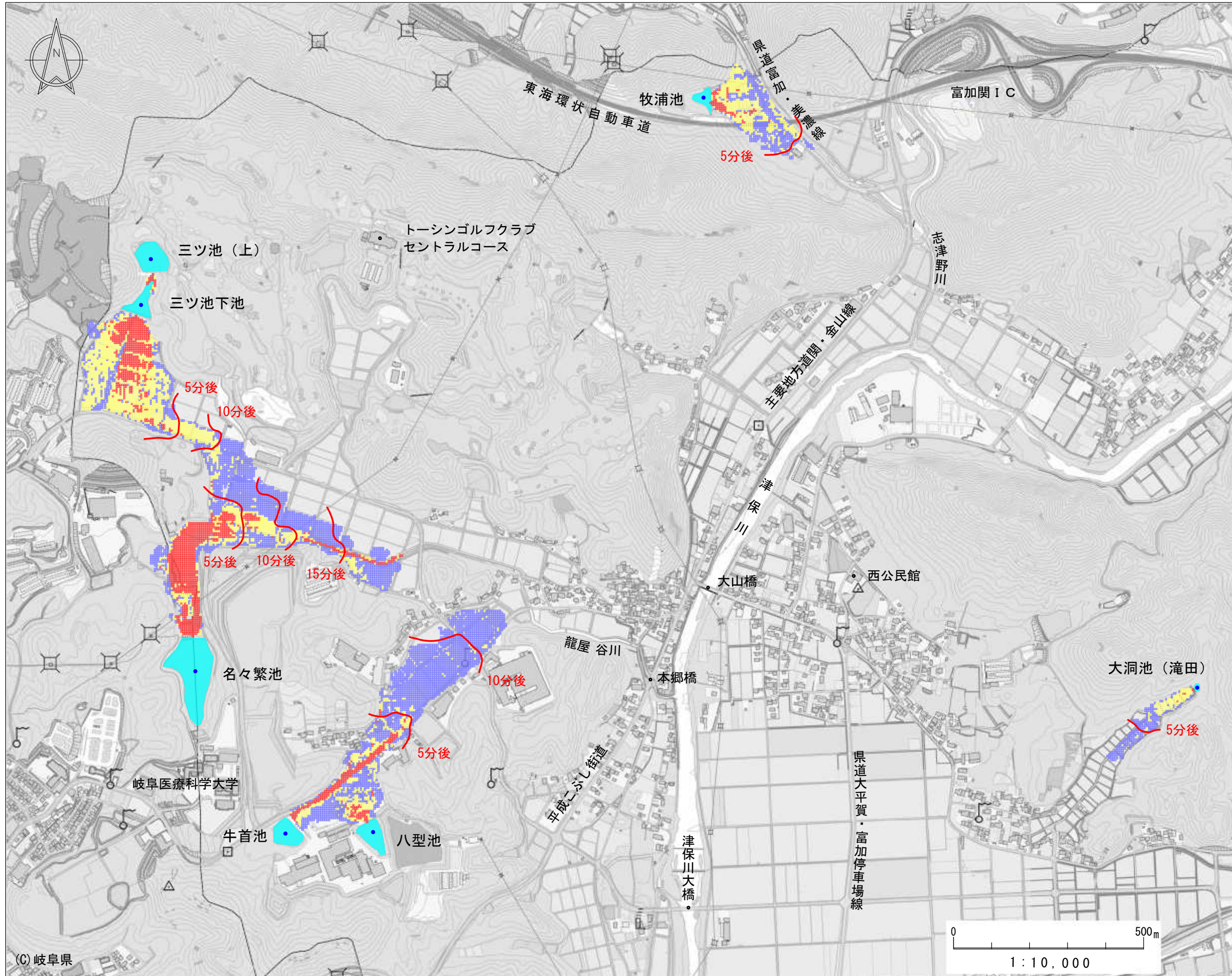


ため池浸水想定区域図

三ツ池（上）・三ツ池（下）・名々繁池 八型池・牛首池・牧浦池・大洞池（滝田）



歩行困難判定	水が浸かる深さ	
	浅い	深い
水が流れる速さ	遅い	可能
	速い	危険
	速い	危険

浸水到達時間の目安

どんな時に避難するの？

立ってられない大きな地震の時
ため池に近い地区では、揺れが収まった直後（あるいは、揺れが長く継続するような場合には揺れている最中）に氾濫水が到達する場合があります。立ってられないような強い揺れを受けた場合には、できる限り早く浸水想定区域の外の高い場所に避難するようにしましょう。

前が白くなるような大雨が続いた時
強い雨が降っている場合には、河川の増水に加えて、ため池の堤体決壊による氾濫水も念頭において、あらかじめ浸水想定区域の外の高い場所に避難するようにしましょう。

日頃からの準備はできていますか？

住み慣れた家でも、いざ避難しようとする時、慌ててしまいがちです。いざという時に慌てないためにも、避難方法や避難経路、避難場所を家族みんなで話し合っておきましょう。

また、非常持ち出し用品、服、履物など、いつも取り出しやすい一定の場所に保管し、保存期間や季節によって交換、補充しておきましょう。

ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に氾濫水が到達すると想定される範囲を、農村工学研究所開発の「ため池DBハサードマップ」簡易氾濫解析ソフトにより示したものです。

実際に氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

発行	令和2年度
作成者	富加町
問い合わせ先	産業環境課

ため池の役割

ため池は、農地をかんがいするために造られた貯水池です。現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多目的機能を有し、地域の大切な施設となっています。



浸水想定区域図作成の条件

堤体決壊条件

本ハザードマップは、堤体が満水時に決壊した場合の浸水状況を記載しています。地震時の決壊は、瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間

堤体が決壊したときを想定した最大流出量と流出継続時間は、左表の通りです。

浸水想定区域の仮定

浸水区域は、流下する地域の地形条件に、堤体決壊時の最大流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。
 浸水に与える流量は、ため池の総貯水量のみとして、河川には水がないものとして浸水範囲を解析しています。
 大雨による決壊の場合には、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わりますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

ため池の規模

名称	堤高 H (m)	総貯水量 V (m ³)	最大流出量 Qmax (m ³ /s)	流出継続時間 t (分)
三ツ池 (上)	14.00	8,112	130.344	2
三ツ池 (下)	4.70	13,500	102.072	5
名々繁池	6.00	31,000	160.354	7
八型池	4.00	3,800	56.009	2
牧浦池	5.00	5,500	71.846	3
大洞池 (滝田)	3.50	300	18.230	1
牛首池	2.30	4,500	47.660	3

最大流出量 (m³/s) : 1秒当りの流れ出る水の量
 参考 : 大型観光バス1台の容積がほぼ100m³



指定避難所 (災害の危険に伴い避難してきた被災者等が、一定期間滞在するための施設)

No.	施設名	所在地	電話番号	使用面積(m ²)	受入人数	対象地区
1	富加小学校校舎・体育館	竜田1381-1	54-3303	4,900	1,630	滝田・羽生
2	双葉中学校校舎・体育館	羽生990	54-3077	3,200	1,060	羽生・夕田・加治田 (川小牧を除く)
3	児童センター	竜田1381-1	54-1332	700	230	滝田・羽生
4	子育て支援拠点施設すくすく	加治田350	54-2108	300	100	加治田 (川小牧を除く)・夕田
5	南公民館	羽生1446-1	54-2887	1,000	330	滝田・羽生 (駅前)・高畑
6	西公民館	大山857-1	54-2103	700	230	大山・大平賀・川小牧
7	高畑集会所	高畑737	-	200	60	高畑

緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名称	電話番号	住所
富加町役場	54-2111	加茂郡富加町滝田1511

地震および豪雨による堤体の決壊

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。
 堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
<クラック> 	堤体の頂部などにクラック (亀裂) が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック (亀裂) は水みちとなる場合があります。特に注意が必要です。
<沈下> 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック (亀裂) などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生します。
<斜面崩壊> 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形を生じる場合があります。
<斜面すべり> 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
<崩壊> 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨により堤体が決壊

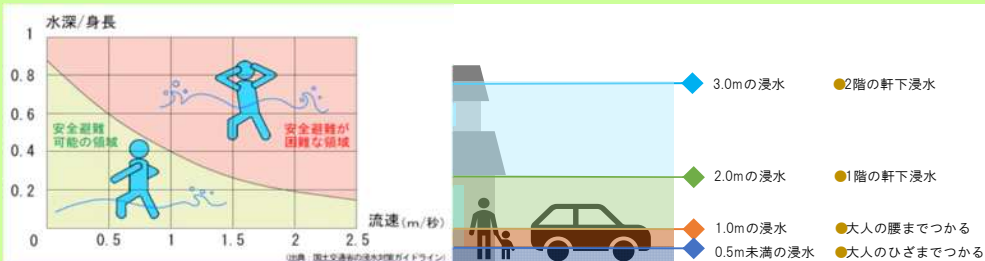
被災形態	被災のメカニズム
<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<すべり破壊> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
<越流破壊> 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

浸水深と避難の目安

浸水深	浸水程度の目安
0~0.5m	床下浸水(大人の膝までつかる)
0.5~1.0m	床上浸水(大人の腰までつかる)
1.0~2.0m	1階の軒下まで浸水する。
2.0~5.0m	2階の軒下まで浸水する。
5.0m~	2階の屋根以上が浸水する。

浸水深	自動車走行
0~10cm	走行に関し問題はない。
10~30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
30~50cm	エンジンが停止し、車から脱出を図らなければならない。
50cm~	車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。

国土省洪水ハザードマップ作成の手引き(改訂版)より



※浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障をきたし、避難行動が困難になります。
 浸水深が0.5m (大人の膝) 程度では流速が0.7m/s程度でも避難は困難になります。

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。
 ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所
被害が想定される位置を確保し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。
非常持ち出し品の事前準備
荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等に注意し、交換・補充するようにしましょう。

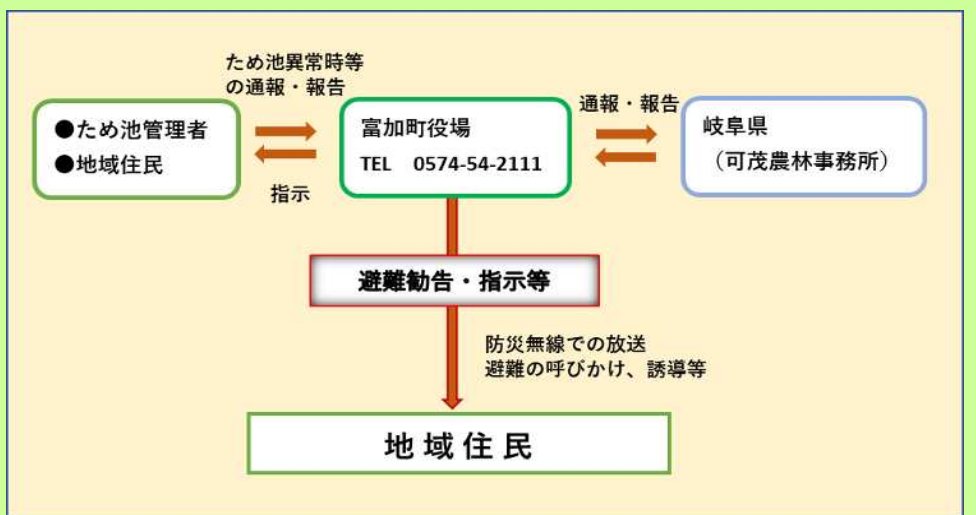
浸水想定区域外への避難

火元確認を
避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。
自主避難を
大きな揺れ(屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等)があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で
丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を通して徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上での避難を心がけましょう。
浸水は、浅くても危険
水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回るのは避けましょう。
万が一、逃げ遅れたときは
万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、高い所へ逃げましょう。

情報伝達経路



この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県の補助金により富加町が作成したものです。

富加町役場 産業環境課
 〒501-3392 加茂郡富加町滝田1511 TEL 0574-54-2111